

ごあいさつ



ステークホルダーの皆さまへ

平素より私ども日本パーカライジンググループの事業活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私は、本年6月に開催された当社定時株主総会で代表取締役社長執行役員に就任いたしました青山雅之と申します。当社グループは激動する現下の社会環境にあって、新たな経営体制のもとで、国をまたぐリージョナル経営を推進し、当社グループの持続的な成長と企業価値のさらなる向上を目指すこととなりました。前任者の里見多一（現・代表取締役会長）に賜りましたご厚情を、引き続き私とグループ従業員一同に賜りますことを心よりお願い申し上げます。

さて、当社グループは、時代とともに変化するお客さまの多様なニーズに合わせ、自らが誇りとする表面改質技術を進化・深化させ、独創性に富む技術と製品を数多く創造し、世に送り出してきました。今後も継続的に技術力の向上を図り、世界に良質な製品・受託加工と技術サポートを提供するとともに、時代が求める環境負荷低減など新たな社会課題を解決するため、さらに技術の研鑽に努めてまいります。

当社は来る2028年に創業100周年を迎えますが、これまでの道のりは平たんなものではありませんでした。皆さまのご支援や諸先輩の尽力により幾多の困難を乗り越え、今日に至っています。現在、当社グループを取り巻く事業環境は不確実かつ不透明さを増しており、将来を容易に見通せる状況にはありません。ただし、こうした状況だからこそ一喜一憂せず、やがて到来するであろう脱炭素社会に向けて新たな技術・用途開発を積極的に進めてまいります。

当社グループは、これからも皆さまから信頼される企業であり続けるため、『あらゆる表面を力ガクで変える』を合言葉に、真のグローバルニッチ企業として飛躍を図るとともに、持続的な成長の実現と社会課題の解決に貢献してまいります。

ステークホルダーの皆さまのご理解とご支援を引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 青山 雅之

トップメッセージ

常識に挑み、自らを変え、 社会を大きく変えよう。

表面改質技術のリーダーとして持続可能な未来を切りひらく力に

1928年の創業以来、日本パーカライジングは「地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて、資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献します」という企業理念のもと、表面改質技術を磨き、この分野のトップ企業としての地位を維持してまいりました。

当社グループは、この間、自動車産業および鉄鋼業界という2つの基幹産業とともに成長してきました。一方で、自動車産業は脱炭素化のうねりが加速し、電気自動車（EV）化が急速に進もうとしています。また、鉄鋼業界は、中国・インドなどの追い上げが増す中で、国内外の業界再編が進む一方、有害化学物質の削減など環境対応技術への要請が急速に高まっています。

この危機的ともいえる状況から脱皮を図るため、当社グループでは自動車や鉄鋼などの伝統的な市場に加え、医療機器、電子機器、航空宇宙、ヘルスケア、家庭用品など、新たな市場・分野の開拓に全力で取り組んでいます。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響によるサプライチェーンの混乱、原材

料やエネルギー価格の高騰などの影響から、事業環境は楽観視できるどころか、一段と厳しさを増しています。

そのような状況下で、鉄の防錆剤や防錆加工法として広がってきた表面改質技術は、最近では環境にもやさしい技術だとの評価も高まり、その役割を見直す動きも始まっています。例えば、金属腐食の代名詞である錆を防ぐ防錆防食技術は、金属の強度劣化や摩耗を防ぐだけでなく、耐久性を高めてモノの耐用年数を大きく延ばすことが明らかになっています。また、素材そのものの強度が高まることで部品・部材の軽量化も可能となり、加工負荷を軽減する技術にも広く活用され、工程短縮や省エネルギーなどさまざまなモノの機能向上に貢献しています。

当社グループでは、環境に貢献する表面処理技術に着目し、次世代自動車に対応した技術開発、環境対応型製品および高機能製品の開発など、社会の新たなニーズに合わせた既存分野の深耕を図り、グループの総合力を生かして、社会課題の解決に寄与してまいります。

次の成長ステージへ 創業100周年とビジョン2030の実現に向けて

当社は2028年に創業100周年を迎えます。100周年という節目は目前に迫るパラダイムシフトを受け入れ、しなやかな企業体質に転換するまたとないチャンスです。経営陣と従業員が一体となって自己変革を進め、変化を大胆に先取りし、社会課題解決に積極的に取り組むことにより、当社グループをもう一段上の成長ステージに引き上げることが可能だと考えます。

そのカギとなるのが「ヒト」です。当社グループは、2021年に「Vision2030」を策定し、その中でサステナビリティ経営の推進を掲げ、「多様な人材の活躍推進」など5つの基本戦略を推進しております。また、現在2025年度から始まる第5次中期経営計画の策定作業を進めておりますが、その策定の過程で、グループの総合力を高め、世界の市場でライバル企業に伍して戦うためには当社グループは何をすべきか、繰り返し自

問する中で、改めてその一つの解として浮かび上がってきた思いが、『性別や国籍を問わず誰もが活き活きと働ける職場造りを通じ、従業員ひとり一人の能力を最大限に引き出す』ということでした。

当社グループの主たる事業である表面改質の根本は、「モノ」を大切にする精神から生まれた知恵です。この「モノ」を大切にするという精神は、昨今求められている脱炭素社会実現の貢献に通底する考え方です。こうした未来に向けたメガトレンドをしっかりと捉え、「自分たちの技術で世界を変えたい」、「誰一人取り残さない世界を実現したい」といった熱い思いを持つ人材を発掘するためには、適切な教育・研修機会の提供はもとより、その前提としてダイバーシティへの積極的、主体的な取り組みが重要であると考えております。

今年度、そうした思いを具体化させる一歩として「女

性管理職比率10%以上」との目標を掲げました。世間一般的には必ずしも誇れる水準ではないと自認しておりますが、女性従業員比率がそもそも少ない業界・当社グループにとっては極めて高いハードルであり、米

宇宙船アポロ11号の船長ニール・アームストロング氏の言葉ではないですが、今回の目標設定が、当社グループにとって大きな一歩となるよう、継続的に取り組みを進めてまいります。

「変革への挑戦～Challenge for Change～」 新総合技術研究所を飛躍のバネに

地球には80億人を超える人類とともに、多様な動植物が共存しています。昨今、気候変動が深刻化するとともに社会の持続可能性が大きな社会課題となっています。気候変動は手をこまねていればいるほど深刻化します。私たちはこうした社会課題と真正面から向き合い、真摯に立ち向かわなければなりません。

私はこの1年の会社方針として「変革への挑戦～Challenge for Change～」を掲げました。自らを変革し、次の百年も生き残れるよう過去の既成概念にとらわれない会社風土を作り上げることで、お客さまをはじめステークホルダーの皆さまに新しい価値を提供したいと考えています。

当社のコア技術である表面改質技術は、既成の常識から離れ、視点を変えることで、新たな技術の地平を切りひらく可能性があります。

当社グループは、表面改質分野のリーディングカンパニーとして、研究開発型の企業を目指してきましたが、新たなイノベーションの創出を図るため、現在、神奈川県平塚市に新総合技術研究所の建設を進めており、本年12月に竣工する予定です。

ここでは既成概念やこれまでの常識にとらわれない発想で、新規分野の開拓と製品・受託加工と技術サポートを提供するプロセスの変革に挑戦します。具体

的には、脱炭素社会に貢献する表面処理技術の開発を推進し、自動車のEV化に加え、将来予想される水素エネルギーや水素社会への技術革新や用途開発など環境関連の研究開発をテーマとし、より多くの有為な人材を配置して、新たな表面処理技術を発掘し、社会課題の解決に貢献したいと考えています。

新総合技術研究所は、自社グループの企業価値向上にとどまるものではありません。人類共通の社会課題に立ち向かい、やがては新しい社会を生み出すエネルギーを秘めた新拠点を目指します。大きな期待を込めて竣工を待ちわびているところです。

当社グループの持続的成長とイノベーションの創出には、多様な人材の活躍が欠かせません。今後は多様な人材の採用と育成により、グループ人材力の最大化を図るため、多様な人材が持つ能力を最大限発揮して誰もが活躍できる環境づくりとともに、柔軟な働き方を可能とする制度を整え、仕事のやりがいと個人の成長を実感できる職場環境の整備を急がなければなりません。

当社グループは、ステークホルダーの皆さまに当社グループの新たな価値創造の取り組みをご理解いただくため、引き続き透明性の高い情報開示に努めてまいります。

Vision2030ロードマップ

あらゆる表面をカガクで変える

